

喜志西小だより



令和7年度 第4号
令和7年 6月30日
富田林市立喜志西小学校

子どもの時間

楠 浩子

1年生の男女、住宅地の向こうから仲良く歩いて来る。入学当初は、保護者様が後ろについておられました。少しずつ送る距離を縮められ、子どもだけで歩いてくるように。5月になると、近くの6年生も一緒になり、道中楽しそうに会話し子どもの世界が広がります。「親と離れて自分で歩くようになると、子ども自ら挨拶するようになる。」見守り隊の方のお話。多くの子どもと接する中での経験談でしょう。

別のところでは、1.2年生数人が坂道をえっちらおっちらと上ってくる。数歩進んでは立ち止まってダンゴムシの行方を追い、果たしてたどり着けるのかと心配になるも、ちゃんと始業に間に合っている。ご家庭から送り出す時刻の見計らい、的確です。

登校するときに泣きべそになってしまうお子さん。お母さんと手をつないで門へ。ひと月後、お母さんの見守りのもと、お兄ちゃんがその役を担う。妹の心細い気持ちに寄り添っていることが同じペースで歩く後ろ姿から読み取れます。それを見送るお母さんの心中や。張り裂けんばかりの胸中で背中にエールを送っているのでは。それも少し前のこと。今では友だちの輪の中で、時折笑顔になって歩いています。

泣きべその別のお子さん。6年生に会うと、気持ちを切り替えお姉さんに手をつないでもらい安心して学校への一步を踏み出している。

ある6年生。30分ほどかかる通学。曲り道に上り坂。歩幅も大きく速度も速い。毎日の繰り返しで心身ともにたくましくなっている。実質 20 分で着くのだと。

また別の日、下校時の門で、「〇ちゃん、バイバーイ」「バイバーイ」「明日も遊ぶ?」「うん、もちろん」「バイバーイ」遠くになっても振り返っては名残惜しそうに。今日も楽しかったと、踊るようにして揺れるランドセルが物語っています。

子どもの時間の中でそれぞれの歩み方で、しなやかに健やかに育っている。子どもって、まぶしいです。

日曜参観・引き渡し訓練がありました

6月1日(日)に日曜参観がありました。多くの保護者の方々が参観に来ていただいたこともあり、子どもたちも張り切っていたようです。4月から成長した子どもたちのようすを見ていただけたことかと思います。

また、参観後には引き渡し訓練も実施されました。有事に備えた取組みとして、こちらもたくさんの方に参加していただきました。おいそがしい中にもかかわらず、ありがとうございました。



水泳の授業が始まっています

今年度から喜志西小学校では水泳の学習が外部委託となり、イトマンスイミングスクール富田林で授業を行っています。(バス2台に乗り込み向かいます。)

どの学年も全4回を予定として水泳指導を受けます。すでに6年生と5年生で実施されています。天候の心配もなく、それぞれのコースにコーチもいるので、子どもたちは快適かつ集中して授業に取り組んでいます。



個人懇談会があります

7月8日(火)～11日(金)の期間で個人懇談会を行います。この1学期、お子さまがどのようにすごし、どのように成長したかなどお伝えできればと思っています。暑い中とは思いますが、よろしくお願いいたします。

また、期間中は1階下足前にて今学期の落とし物を展示しますので、一度ご確認のほどをお願いいたします。